

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、その「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。



活動紹介☆

## 早川一座

歌あり、踊りあり、笑いありの演芸ショーを老人福祉センターくすの杜で始めてもうすぐ5年。毎回、高齢者の方々を楽しませています。



### 《始めたきっかけは…》

「活動を始めたのは、13～14年前。歌を活かせる活動がしくて、同じように歌や踊りをする方々と一緒に慰問の活動を始めました。現在16名で活動しています」と、話してくださったのは代表の早川史朗さん。メンバーは、宇美町在住の方は少なく、皆さん車に乗り合わせるなどして宇美町の慰問先に来ています。活動は宇美町だけでなく、久留米や朝倉など他の地域や、病院や障がいのある方の施設など様々なところで月に6～8回活動をしています。

### 《やりがいは…》

早川さん「懐かしい歌は認知症の方にも口ずさんで頂けます。そうして楽しんでもらったら嬉しいです」  
女性メンバー「踊りを習っていて、自分が踊れるようになってもそれだけでは楽しくありません。見てもらおうと張り合いが出ます」

「踊りを楽しんで見てもらえると、またがんばろうと思います」

男性メンバー「歌を歌う時に、踊りながらできると良いと考え、最近加入しました。見ている方の目がキラキラして、喜んでもらっている様子が嬉しい」



代表の早川さん



日本舞踊を披露する団員

### 《観客の方から》

「楽しかった！知り合いの方も出ていて、あんなこともできるのかと感心した。このような演芸が見られて良かったです」

### 《活動は…》

「偶数月の第4金曜日に老人福祉センターくすの杜で12時半から演芸ショーをしています。メンバーは口コミで加入することが多く、損得勘定で動かない方が集まっています。たくさんの方に見て頂いて楽しんでもらいたいです」

★代表の早川史朗さんは、スリランカについての国際協力活動もしています。ご興味のある方は、ふみらぼでご紹介しますのでご連絡ください。

### お知らせ☆

第48号のざっくポランで紹介した「NPO法人よか隊」さんが、【循環レストランのあ】を貴船にオープンしました。

障がい者就労支援の一環で、自分たちの畑で採れたものや安心できる食材をつかって、ランチやデザートをつくっています。ぜひご利用ください！



### ポランコ屋がら

循環型社会とは

よく食べるよか隊!!  
食糧の秋!!  
たえば①食べる

②野菜くずを有機堆肥へ  
コンポスト  
米ぬかがお手伝い!

③有機堆肥を畑へ

できた作物をまた①食べる  
よか隊がよか隊

資源をくりかえし使う  
地球にやさしい社会を目指しましょう!

営業は、月～土曜日  
午前11時から午後4時まで  
日曜・祝日は休業。

### 編集後記：

ボランティアで活動される方は総じて謙虚です。今回取材した早川一座の皆さんも、「上手じゃないけど...」「大変なことはないです」と言われていました。そんなことないですよ～、とても素敵でした。機材も衣装も持ち込まれていて、お疲れ様です。(K. E)